保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：　2024年　　3月　　15日

事業所名　岐南さくら発達支援事業所　　保護者等数（児童数）　29　　回収数　　17　　割合　　58　　%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	0	0	0	子どもの環境が十分に整備されており安全に学ぶことができている。	スペースを取り、安全には、十分留意しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	0		3		ガイドラインに沿った運営をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	0		1	活動の部屋ごとに子供が分かりやすい名前がついていてよいと思います。	今後も、掲示などでわかりやすくしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	0			清潔でいろいろな情報が入らないよう工夫されていると思います。 危険が少なく清潔なイメージです。	環境整備が整うよう配慮していき、安全で衛生的に過ごせるように努めます。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16	0		1	しっかり分析されています。	今後も、お一人お一人のニーズに合わせた計画を作成し、わかりやすく説明していきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	0		3		常に、ガイドラインに沿った内容となるよう、研修をしています。わからないことがあった場合は、岐阜県地域福祉事務所に尋ね、指導を受けています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	0		1		指導員同士、連携を取り、毎日の振り返りをして、児童発達支援計画に沿った支援を心がけています。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	0			日々違う活動があり、とても工夫されていると思います。 実験遊び、いろいろな製作が工夫されている。	月毎の予定の見直しをして、５領域を意識した総合的なプログラムとなるように、日々、研鑽しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15	0	1	1	認定こども園での活動に参加させてもらっています。 同年代の児との交流が増えるとうれしいです。	社会福祉法人の母体が、保育園・こども園ですので、連携を常に取りながら、交流を持つようにしています。今後も計画していきます。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	0	0	0	説明をしっかりしてくださいました。	入所時に、説明をさせていただいています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	16	0	0	1	説明をしっかりしてくださいました。 前回と比べてどうか定期的に評価し新しい目標を考えてもらえます。	モニタリングをきちんとさせていただくことで、次の計画に活かされます。これからも、支援内容をきちんと説明していきたいと思います。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	10	1	1	5	困りごとに対してのアドバイスをその都度していただいておりとてもありがたいです。 機会があるのならやってみたいです。	連絡ノートを通してお伝えしたり、口頭でお話したりしてきました。家族支援が大切と考えています。次年度は、ペアレントトレーニングの時間を設けたいと思います。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15	2	0	0	連絡ノートを中心に伝えることができています。	保護者様の送迎の方には、その都度お話する機会となっています。お会いできない方には、お電話でお伝えすることもあります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	3	1		相談するとすぐに対応してくれ助かっている。	半年に一度は、モニタリングさせていただいています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	2	2	2	保護者との交流の場があるとうれしいです。 先輩ママの意見を聞く機会があると良いと思いました。	今年度は、ママトークが１回と総会となりました。次年度は、計画を見直し、保護者様同士の交流の場を増やします。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	0	0	0	急な訪問に関わらず快く中へ通してくださり驚きました。	常に、保護者の皆様に寄り添いながら、子育て支援を充実させています。これからも、心のよりどころとなるような事業所を目指します。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	0	0	0	連絡ノートでどんな活動をしたのか、分かりやすく伝えてくださり助かっています。	私たちも、連絡ノートで、ご家庭の様子がわかり、支援に活かすことができます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	0	3	2	定期的に集団活動予定表が配布されていて、その他緊急時の対応なども発信されています。 ホームページやお知らせメールがあるとうれしい。	３月の総会で、メール配信システムについてお話させていただきました。今後メール配信システムを活用していきます。事業所のホームページがさらに充実するよう検討していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	14	1	0	2		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12	1	0	4	緊急時の対応マニュアルは頂いており、説明も十分に受けています。	契約時や年度初めに、丁寧に説明をしています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	1	0	4	災害や不審者対応を定期的にしていただいています。 台風等の休所の連絡がメールで来ると助かります。	３月の総会で、メール配信システムの登録用紙を配布しました。ご登録いただき、今後、活用していきたいと思います。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	13	3	1	0	通うことをとても楽しみにしています。 何回も「今日はよりどころ？」と聞いてきます。 会話の中でよりどころの話が出るようになりました。 友達と関わる良いきっかけになっています。 やりたがらないことは無理強いせず、他のアプローチをして下さるので子供も親も楽しみにしています。	「よりどころ」の通所を楽しみにしてもらえて、嬉しいです。これからも、愛情いっぱいの支援をします。
	23	事業所の支援に満足しているか	17	0	0	0	とても満足しております。 子どもに寄り添った支援、訪問等していただきいつも感謝しています。 相談しやすい環境がありがたいです。	今後も、利用者様のニーズに合わせた支援に努めます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表:　2024年　3月　15日　　事業所名　岐南さくら発達支援事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	指導スペースが十分に取れるよう、物の配置に配慮しています。	
	2	職員の配置数は適切である	10	0	常に確認をしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	0	室内配置図を掲示したり、車椅子が通れるスペースを常に意識して確保しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	0	衛生的に過ごせるよう、室内の整美に心がけています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10	0	朝礼や、各部会、職員会を定期的に開催して、職員の意識向上に努めています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	この評価結果を職員に周知して、改善すべき点について話し合います。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0	実施した結果を、ホームページ上に公開します。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	3	第三者委員２名を設置しています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1	年間計画をたて、毎月、実施しています。	法人内研修にも積極的に参加できるよう調整します。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	0	児童発達支援管理責任者を中心に、指導員と連携を取りながら作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	0	総合的な支援になるよう内容を検討しています。	常に、ガイドラインに基づいて支援内容を計画し、実践します。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0		支援目標を個別に話す時間を作ります。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	月毎に見通しを持って、立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	５領域の総合的な支援を心がけています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	10	0	一人ひとりのニーズに合わせた計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	担当指導員と打ち合わせをしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	0		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0		どの指導員も質の向上に努めます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	0		
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0	会議の中や、電話で、利用児童の情報を共有して、連携を取り、必要な支援となるよう心がけています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0		
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	3	常に連携し、利用児童の健やかな発達につながるようにしています。	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	2		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	4		次年度は、ペアレントトレーニングの研究を深め、取り組んでいきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	1		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	迅速な対応ができるように、日程調整を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	3		保護者同士の交流の場を持てるように計画します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1		発信文書の中で、事業所内の様子を伝え、家族支援につながる内容を充実させていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1	視覚教材を使用して、わかりやすく伝えています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	4		地域交流の機会を計画します。
非	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	毎月、訓練を実施しています。	メール配信システムを取り入れ、保護者に必要な情報が届くようにします。

常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0	マニュアルを作成して掲示して、周知しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	0		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。